

科目区分：総合科学科目

授業科目名	放射能の光と影				学期	曜日	校時
英語名	Radioactivity influence on the human society						
担当 教官名	冨塚 明	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	水曜日 1校時
担 当 教 官 名							
戸田 清（環境）、冨塚 明（環境）、上谷 雅孝（医歯薬）、吉川 勲（環境）、 三根 眞理子（医歯薬）、渡邊 正己（医歯薬）							
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
放射能が発見されて100年以上が過ぎた。その間に核エネルギーの発見がなされ、60年ほど前に原子爆弾として実用化された。これを契機として「放射能」の存在は人間社会に様々な問題を投げかけることになった。この講義では自然現象として存在する「放射能」について、科学的知識を身につけると同時に、それが社会に及ぼしている「光と影」の現実をとらえることを目的とする。							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
教科書は使用しない。 適宜、プリントの配付をする。 参考図書： 安斎育郎「放射能 そこが知りたい」かもがわ出版、 土井和巳「そこが知りたい放射性廃棄物」日刊工業新聞社							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	毎回提出する「講義概要」、教官を指定して提出する「最終レポート」による総合評価。（配点はそれぞれ70点と30点）						
授 業 計 画							
第1回（10月6日） オリエンテーション（冨塚） 第2回（10月13日） 原子力開発と社会的格差（戸田） 第3回（10月20日） 放射能の物理（冨塚） 第4回（10月27日） 放射能の医療への応用（上谷） 第5回（11月10日） 放射能の医療への応用（上谷） 第6回（11月17日） 放射能の線量限度とリスクの最適化（吉川） 第7回（11月24日） 核エネルギーの利用と核兵器開発（冨塚） 第8回（12月1日） 放射能の人体への影響（三根） 第9回（12月8日） 原爆後障害（三根） 第10回（12月15日） 原子力発電のしくみ（冨塚） 第11回（12月22日） 核燃料サイクルと放射性廃棄物（冨塚） 第12回（1月12日） チェルノブイリで起きたこと（三根） 第13回（1月19日） 原子力と人間（渡邊） 第14回（1月26日） 原子力と人間（渡邊）							
質問受付時間：水曜日 校時 冨塚教官室							